

地域福祉シンポジウム /

誰ひとり

取り残さないまち、 亀山をめざして

～亀山版「重層的支援体制整備事業」を通して考える～

シンポジウムでは、豊中市社会福祉協議会の勝部麗子さんによる基調講演のほか、本市が令和4年度から取り組む地域福祉力向上重層的支援体制整備事業の実績を報告しながら、トークセッションを行います。ぜひお越しください。

申込不要
入場無料



とき 7/5 金 開場 13:00
開演 13:30

ところ 亀山市文化会館 中央コミュニティセンター
住所：亀山市東御幸町63番地

第1部 基調講演 13:40～14:30

大阪府豊中市の実践
断らない相談支援から社会とのつながりをつくる参加支援



講演者

社会福祉法人
豊中市社会福祉協議会 事務局長 **勝部 麗子**

プロフィール 大阪府豊中市生まれ。1987年豊中市社会福祉協議会へ入職。2004年に地域福祉支援計画(大阪府)のコミュニティソーシャルワーカー配置事業の1期生となり、こみ屋敷やひきこもりなど、さまざまな制度の狭間の課題を解決するプロジェクトを立ち上げる。2016年には、厚生労働省地域力強化検討委員、2017年からは社会保障審議会生活困窮者自立支援及び生活保護部会の委員を務める。

第2部 トークセッション 14:40～16:00

誰ひとり取り残さないまち、亀山をめざして
～亀山版「重層的支援体制整備事業」を通して考える～



ファシリテーター

佛教大学 社会福祉学部 社会福祉学科 准教授 **ながとも 長友**

まさてる **薫輝**

パネリスト

豊中市社会福祉協議会 事務局長 勝部 麗子
NPO法人えん 代表理事 小林 弘樹

亀山市長
亀山市教育委員会 教育長
亀山市社会福祉協議会 会長

櫻井 義之
中原 博
榎谷 英一

ともに支え合い、ともに暮らせる **ふくし** のまち

本市では、社会福祉法に基づいた重層的支援体制整備事業について、市の主要事業として事業化し、「課題を抱えた世帯を丸ごと受け止める相談支援、社会とのつながりをつくるための参加支援、世代や属性を越えて交流できる場の設置などの地域づくり支援」を一体的に展開できるよう、既存の分野ごとのしくみを組み合わせてオーダーメイド型で支援する体制づくりを進めてきました。

令和2年度には、世帯が抱える複合的な福祉課題を市と**CSW**に集約する「つながるシート」を導入し、小中学校などの教育と福祉の連携強化や、市の相談窓口を有する部署への全庁展開などにより、包括的な相談支援体制づくりを進めました。令和5年度からは、出口支援として、支援対象者のニーズに応じたマッチング等に取り組む「参加支援（就労体験等）事業」に着手し、既存の社会資源を活用した社会とのつながりづくりを展開しています。さらに、令和6年度からは、日常生活や社会生活の自立に関する支援から、就労体験の利用機会の提供などの就労自立に関する支援までを計画的かつ一体的に提供する就労準備支援事業を事業化し、参加支援事業との連携を含めて官民協働による就労支援の体制づくりを進めています。

相談窓口のご案内

ふくしに関する相談なら...

CSW **まで**
コミュニティ ソーシャル ワーカー

片付けられずに
物があふれている



書類を整理したり
手続きをするのが苦手



相談相手もなく
育児や介護に疲弊
している



周囲から見て
今後の生活が不安・心配



長く引きこもり
外出できない



高齢者、障がい者、子育て世帯をはじめ、家庭の中で複数の困りごとを抱える方からの「日ごろの暮らしの中で困ったこと、悩んでいること、誰に相談したら良いかわからないこと」など、どこに相談したら良いかわからない悩みごとは、まずは、**CSWまでご相談ください**。制度や支援機関、地域のしくみにどのように繋がっていくかを一緒に考え、寄り添い続けます。

社会福祉法人 亀山市社会福祉協議会 〒519-0164 亀山市羽若町545番地

TEL.0595-82-7985 FAX.0595-83-1578

相談無料・秘密厳守